

新山協ニュース

会長 藤井 信
新潟県山岳協会
長岡市学校町3-11-7
TEL 0258-32-4835

事務局 土田幸雄
長岡市中沢4-426-4
TEL 0258-39-2700

編集者 遠藤家之進正和
上越市本城5-4-102
TEL 0255-26-9986

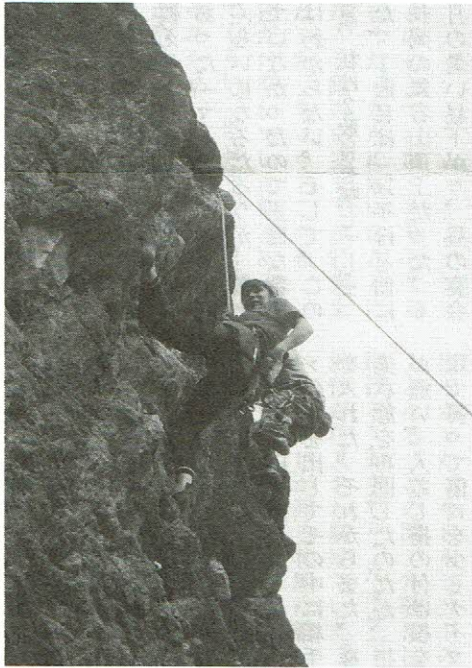
岩登り講習会に参加して

むささび会

須田 幸子

雨の少し上った中、シューズを履き、ハーネスを締め、カラビナとエイト環を着け、ヘルメットをかぶる。この装備を着ただけで一人前のクライマーになった気分となる。阿部さんはじめベテラン指導員のもと、駐車場向いの斜面で懸垂下降の練習を行う。ロープをエイト環に通しシュリングでブルージックして、いざ下降。手に力が入って腰

にザイルが捲きつけすぎ、下がらない。
「手をもっと下げる」
「体を倒せ」
と下から声がかかる。自分ではやっているつもりでも、尻が落ちて腰だけの状態のようだ。ロープが雨に濡れてすべりが悪いせいもあるが、思うようにはなかなかいかない。それでもなんとか着地。ちよつと緊張感もとれ、3



中級コースを登はん

回くらい下降を繰返す。慣れたので杉滝岩に移動し、ショートルートに取りつく。前の人が登りついているのを下から見ている時は「右、左」とか「あそこに足をかければいいのに」なんて思っていたが、いざ自分の番になると、手に力を入れて無理やり岩にはりつく感じ。
「体を岩から離せ、足で立て」

とまた下から声がかかる。ルートもイメージしておくとアドバイスされる。交代して確保の技術も習うが、ロープの送り出しがスムーズにいかず難しい。ロープの結び方、カラビナの扱い方など自然に手が動くように練習あるのみと痛感する。

講習会報告

技術指導委員長

阿部 信一

- 日時 平成11年6月19日 (土) 20日(日)
- 会場 新発田市 内の倉ダム杉滝岩
- 参加者 20名 講師8名
- 講習内容
 - 1、初心者
 - ハーネスの装着、ロープの扱い方、ロープの結び方、(八の字、ブルージック等)、カラビナの扱い方、支点の取り方、確保の仕方、三点支持、懸垂下降等について説明した
 - 2、初級者
 - ハーネスの装着、ロープの結び方、支点の取り方、作り方、確保の仕方等について指導した後、初級ルートの登はん、懸垂下降を行ないながら指導。
 - 3、中級者
 - 中級ルートを登はんさせることにより、更に上級の登はん技術、下降技術等を実地指導。

マムシに咬まれた話

長岡ハイキングクラブ

片桐 一夫

日本列島に生息する蛇は、19属39種と言われているが、我々と出会いのある蛇は民家にも棲む「アオダイショウ」・「シマヘビ」、里山などに生活している「ヤマカガシ」・「ジムグリ」そして、「マムシ」などとなる。

30年ほど前になるが、国鉄土樽山の家の「ヒゲさん」と、高波吾策さんからお聞きした話では、アオダイショウとシマヘビは、異種交流が盛んなため、「純潔種」にはなかなかお目にかかれない。ということだった。たしかに、出会ってよく見ると、シマが鮮明でない個体や、アオダイショウに見えるがわずかにシマがある個体ばかりなのだ。近い将来、この二種は統一さされて「アオシマヘビ」と呼称されるかもしれない。

山を歩き始めて40年近くを数えるが、その間に出会いのあった「マムシ」は30〜40匹くらいになるだろうか。数えていなかったのが正確な数字はわからない。そして、この夏、私は2敗目を喫してしまった。1敗目は、10年ほど前に長岡の風谷山頂上だった。6月の暑い昼下がり、昼の宴会が終わり、私はなお、酒を飲んでいた。働きの山仲間が数名、藪の中で働いていた。そして、大声！「マムシがいた！」。気持ち良く酒を楽しんでいた私だったが、瞬時に反応を示した。「寄るな触るな俺が行く！」。私は「道具」を作って現場に急行した。相手は倒れている大木の幹上にとぐろを巻いていた。木の枝を50センチほどに切ってマムシの頭を押さえ、反対の手の親指と人差し指でマムシの首根っこをつまむ。：はずだつた。しかし、極楽状態だった私は、手順を間違えてしまった。右手で枝を持ち、左手で

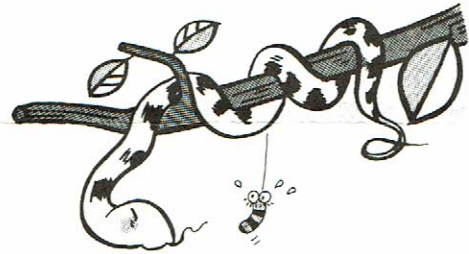
首根っこをつまもうとしたのだった。「攻撃」を受けた相手は「電光石火」己の首を左手に振って、私の左手人差し指を打たれたような痛みが走った。「瞬怯んだ私だったが、作業をやり直した。今度は旨く行った。マムシをつまんだ私は頂上広場に戻り、ポリタンの水を出してその中に相手を入れた。それからまた、極楽状態を再開したのだが、指が痛い。人差し指の付け根を紐で縛って傷口を少しナイフで切ってそこを口で吸いながら痛みを我慢していたが、その指が火照る。茶碗に注いだ冷や酒に指を入れて冷やしてみた。いくら痛みが少なくなっているように感じていた。そうしてからどれくらい時間が過ぎたのか定かでない。そのうち、「目が回り始めて来た」。これはいけない。本能でそれを感じ始めた私は仲間

に告げた。聞きつけてくださった室賀さんと藤井さんが同行して下山してくださるという。3人で風谷山を下り、私の愛車「ダイハツタフト」で最も近い中央総合病院へ走った。しかし、この日、中央総合病院は「救急指定病院」ではなかった。次に、日本赤十字病院に走った。ここでようやく診察を受けることになった。この頃、左手の甲はむくみ始めていた。しばらく待たされて診察。何やら注射をされて、なにやらの液体を点滴で血管に入れられた。500ccくらいの一袋がなくなると、自宅に帰還した。すでに、私の目はぐるぐると回っていても車を運転できる状態ではない。室賀さんの運転で自宅に生還した時は、目を開けられなかった。目を開けると世界が回っていて気持ちが悪くなるのだ。目を閉じていると何ともなかった。そして左手のむくみが次第に腕の付け根まで侵攻してきた。

一敗目の記憶は、ここまでで終わっている。そして二敗目は、今年8月22日(日)に起こった。ちょうど一週間前に確保して、自宅で飼育中のマムシを自宅裏庭で遊ばせていた。程よく遊ばせた後、飼育器に戻そうと彼女をつまむ作業で私はミスをしてしまった。正しい手順に従わなかったのだ。つまり、左手で木の枝などで作った棒を使い、彼女の頭を押さえ、そのまま右手の親指と人差し指で「顎のすぐ後ろをつまむ」ことをやらなかった。栗のイガなどをつまむピソセットの親方みたいな道具を左手で使い、彼女の首根っこを押え、その後ろを右手の指でつまみ、ピソセットを放したからたまらない。彼女は電光石火、首を左に振って私の右手親指にガッチリと咬みつけた。また、医者にBCGを注射されたような痛みが来た。10年前と同じだった。2敗目を喫した私は「極楽状態」ではなかったため、直ちに山用の鉈を持ち出し、その場で彼女の首を刎ねた。そして、首無しになったのた打ち回る胴体を縦に裂き、皮を剥いていった。胎盤に入ったままの2匹の子マムシが出てきた。彼女は妊娠していたのだ。皮を剥いだ胴体を、後でから揚げにして食べることにし、ポリ袋に入れてすぐに冷凍庫に入れた。ほかの部分は庭で「セッセと働いているアリさん」に食料として与えることにした。二階に上がり、家事をしていた家内に顛末を話し、これから病院に行くからどこ

で引き受けてくれるか119番に電話をするよう指示して風呂に入った。この日も曇く、汗びっしょりとなっていた体が気持ち良い。頭も洗い、さっぱりして出てきたら、立川総合病院で引きうけてくれるとの話だった。勝負があつてから、まだ30分も経過してないので、目も回っていないが、家内に車を運転してもらい、病院へ。病院では私を待ち構えてくださっていた。直ちに救急外来で診察。担当だった長坂先生が非常に熱心に私を診て下さった。基本的作戦は、大量のリンゲル液などを血管に注入し、排尿で同時に毒を対外に排出する事のようにだった。その間、5分間隔で血圧測定、蛇毒研究所に電話をされて対応の確認などされていた。寄って集って看護婦さんたちが処置をしてくれ、彼女たちが「天使」に見える始めた。長坂先生は、蛇毒により、急激な血圧低下、腎不全、死亡という物語も想定されていたように思う。2時間も経過して、きて、帰宅の指示が出るかと思っていたが、長坂先生からは、『とんでもない！今日は泊ってください。』

このことで、びっくりしてしまった。さらに驚いたことには、5階の病室まで歩行禁止だった。ちょうどこの夜、一室だけ空いていた個室に入ってもらい、明日まで歩行禁止のため、ベッドに「シビン」が取り付けられ、その都度、看護婦さんが来てくれて、量を測定するとともに、分析までされたのかもしれない。血圧測定も夜中じゅう、30分毎に看護婦さんが測定に訪れた。長坂先生も夜11時を回るまで



時々視察に見えられた。「大事」を心配されていたのだと思う。下界は暑い夜で寝苦しいところ、私は快適だった。それでも腕は次第にむくみが侵攻して、右腕の付け根をいくらか越えた。手首から先は、パンパンとなり、指は広げても隣との隙間はなくなり、曲がらなくなっていた。そして、わずかに「目が回る」状態は、あった。むくみのピークは、「勝負の時」から8時間後くらいのようにだった。夜半からそれが引き始めているような感覚を覚えていた。月曜日、もう大丈夫なので、退院を希望してみた。しかし、許可は出なかった。今日もベッドの上となる。この間、左腕には継続して針が刺さったままで、液体が注入され続けていた。いくらか目が回る状態は続いている。歩行許可は出たので、トイレは自主的に針が刺さった袋を引きずりながら用を足した。その量も測定器にかけられた。攻撃された個所の痛みはもうない。家内に病院で読む本を持ってきてもらい、退屈はしなかったが、もう明日は退院する必要があったのだ。私は、長坂先生に説明す

る作戦を立て始めた。火曜日、午前の回診が勝負の時だ。今週末曜日にキャンセルできない予定があり、そのため、明日は、その準備で職場にいたいと話した。結果、先生はしぶしぶOKを出してください、夕刻、めでたく退院をさせていただいた。後日談とはなるが、今回のケースは、入院一週間、全治二週間が妥当な所だったと思う。退院すると、どうしても体を動かすから、そのため、いくらか残留している毒が体内を回るように思えた。

勝負から一ヶ月以上経過した現在、私の右腕はスリムになり、元に戻った。しかし、右親指は明らかに太いままで、よく曲がらない。いつまで続くか興味津々である。さて、沖繩には猛猛な毒蛇、「ハブ」が生息しているが沖繩に行かない限り彼とは遭遇しない。積極的に攻撃してくる「ハブ」に比べて、我が「ニホンマムシ」はおとなしい。人間が攻撃するから反撃するので、自らは人間に攻撃しない。日ごろの動作はゆっくりしていて、なかなか動かさない。しかし、ひとたび攻撃を受ければ、電光石火、反撃する。咬みつく時の首の反転動作はすばやい。敵の「武器」めがけて己の牙を全開で飛びつく速さも恐怖が伴うと、空中を1mも飛んできたように見えるはずだ。咬まれたら、「武器」にもよるが、ナイフで少し切れ目を入れ、自分の口で血と一緒に毒を吸い出すと良い。毒は飲み込んでも心配ない。それが出来なければ、可及的速やかに出来れば安静にして病院に行き、処置してもらいたい。死ぬことはあまりないのでご安心ください。咬まれたくなかったら、遭遇しても攻撃しないでゆっくり遠ざかってください。彼女は追いかけてこない。私は今年、これまで3回出会った。勝負は、1勝1敗1引き分けである。



行事案内

指導員研修会並びに平成11年度競技スポーツ指導者養成事業スポーツクライミング講習会開催について

1、趣旨

県内のスポーツクライミングの発展向上のために、技術指導法の講習会やスポーツ医学分野の研修会を実施し、指導者の資質向上及び指導者間の共通理解を図ることに、年齢や学校枠を超えた一貫性のある指導体制の基礎作りを推進する。

2、日時

(1) スポーツ医学講習 平成11年11月14日(日)

(2) 技術講習 平成11年12月18日(土)

3、会場

(1) スポーツ医学講習 新潟市東総合スポーツセンター

新潟市はなみずき3-4-1

TEL 025-272-5150

(2) 技術講習

三条市総合福祉センター
三条市東本城寺2-1

TEL 0256-133-8511

ウェスト三条店

三条市五明241

TEL 0256-135-8228

4、参加対象者

- (1) 新潟県山岳協会関係者
- (2) 県内小・中・高・大学スポーツクライミング競技関係者
- (3) 市町村教育委員会社会体育担当者
- (4) スポーツクライミング愛好者

5、講師

(1) スポーツ医学講習 古賀 良生

新潟こばり病院

(2) 技術講習

山崎 順一

日山協常務理事・クライミング委員長

飯山 健治

日山協クライミング

常任委員

6、講習内容

(1) 医学講習

スポーツクライミング選手のトレーニング中の負荷による障害の予防と対処方法について

(2) 技術講習

スポーツクライミングの将来を見据えたジュニア期の効果的指導及び、ルート・セッタ・ジャッジについて

7、参加について

- (1) 参加者の旅費は各自負担
- (2) 参加費 2,000円
- (3) 技術指導の受講者は、個人のクライミング用具を持参下さい。

見学参加者も可。

8、参加申込

11月5日(木)までに申込みを

詳細についての問合せ

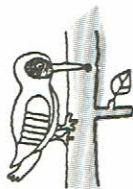
TEL 950-2071

新潟市西有明町1-29

新潟県山岳協会

井手 秀雄

TEL 025-266-1319
FAX



平成11年度11月専門委員会行事予定

日 時	行 事 名	会 場	担 当
11.11.14	指導員研修会	新潟市	技術指導
11.11.	熊本国体反省会	新潟市	国 体
11.11.27~28	北信越5県連絡協議会	新潟県上越地区	総 務

日山協・文部省登山研修所等11月行事予定

日 時	行 事 名	会 場	担 当
11.11.28	臨時理事会	東 京	日山協 総務
11.11.	冬山シンポジウム		日山協 総務
11.11.	冬山登山計画書集計		日山協 総務
11.11.	国体常任委員会研修会		日山協 国体
11.11.~3	地区別審判員研修会		日山協 国体

登山用品専門店

— 信頼できるパートナー —

大新スポーツ

新潟市東堀6 ☎(025)222-3736

登山・アウトドアの専門店



新潟駅前店

新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)